

ワッショイ！ワッショイ！新御輿のお披露目だ！

大谷風神祭ごども御輿
(8月3~7日：大谷地内)

特集／救急救命への橋渡し

行政スポット／町総合防災訓練 大谷小に教育用PC設置

第44回米澤市議会選挙結果 ほか

カミラさんぽ／国産ワインコンクールで国産ワインが2年連続入賞

まちの話題／J2公式戦観戦券販売データ 造園技能講習会

寒河江西村地区少年の主張大会 ほか



広報

あさひまち

2005年9月号
No.586



朝日分署の職員に心肺蘇生法の指導を受ける住民たち
(7月10日／大谷連合区総合防災訓練)

いつ、どこで、なにが起きるか、予測のできない突然の事故。目の前でそんな事故が発生した時、あなたには何ができますか。

平成16年の1年間、寒河江西村山管内における救急による出動回数は2,569件。これは一日当たり約7件、時間にして約3時間30分に1件の割合で出動している計算になります。

9月9日は救急の日。人々の生活形態も複雑化し、一刻を争う事態に誰もが遭遇しうる今日。今回の特集では、町内における救急出動の現状と、かけがえのない命を救うための「応急手当」の基礎知識について紹介します。

特集○救命救急への橋渡し

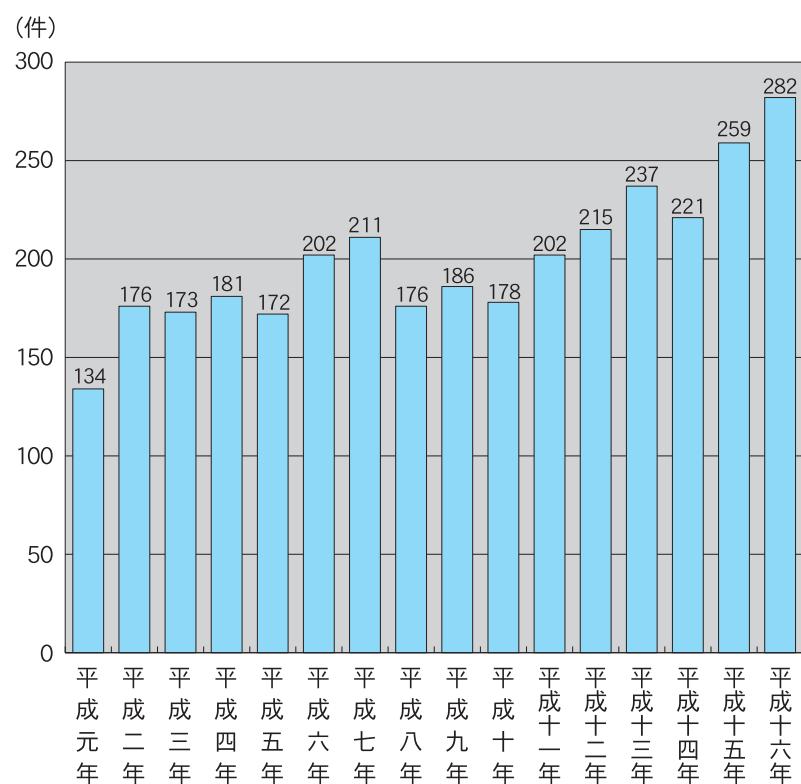
早い通報と現場での応急手当が尊い人命を救う

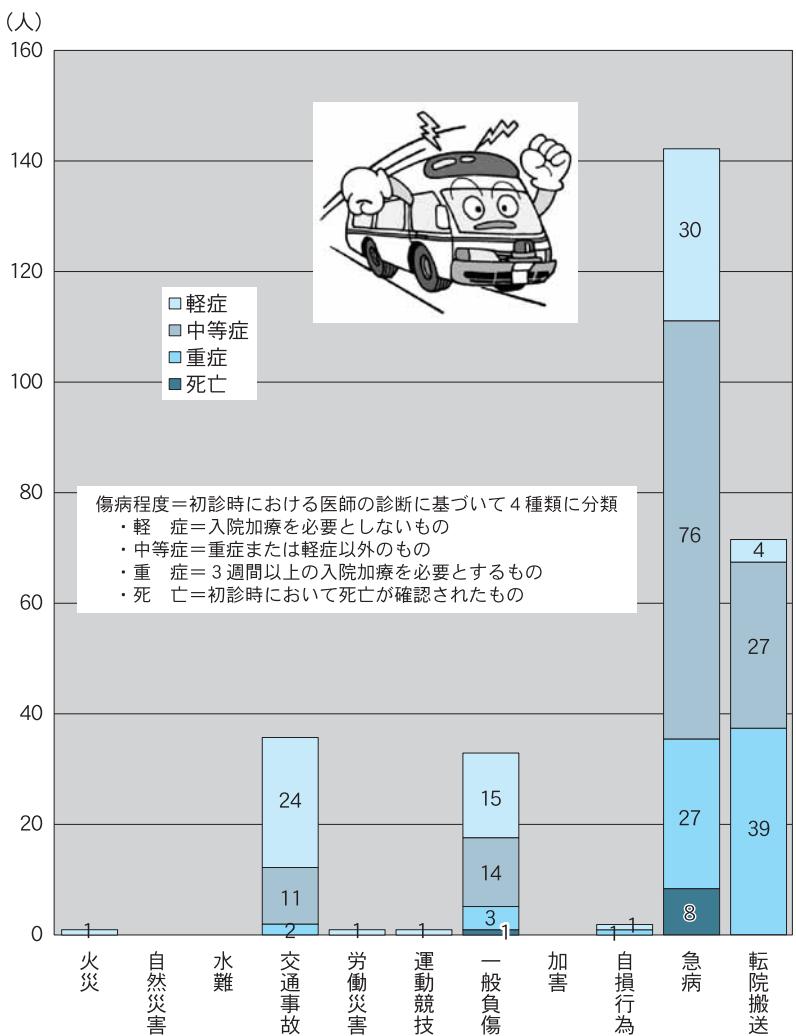
防署朝日分署の調べで、過去

みると、その数は年を追うご

近年増加傾向にある救急出動件数

広域行政事務組合消防署朝日分署の現場から





(図2) 平成16年の朝日分署管内事故種別傷病程度別搬送人員

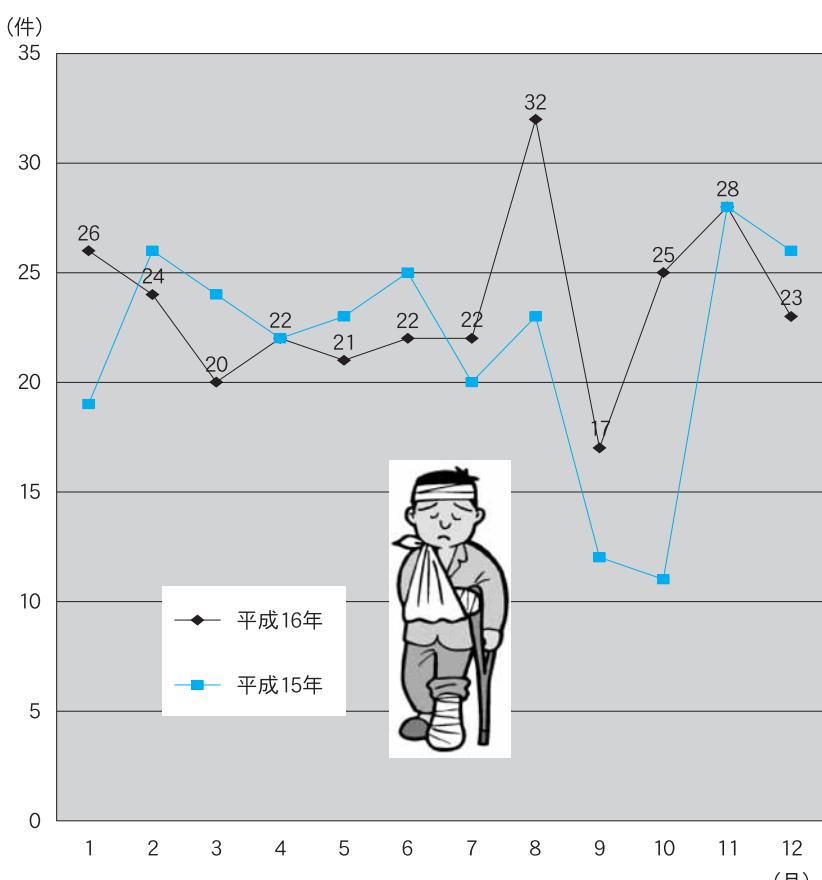
とに増加しており、平成十六年で二百八十二件、前年比で二十三件の増となっております。(図1参照)。平成元年と比較すると、二倍以上の出動件数に上っていることがわかります。

また、今年八月末現在の出動件数を前年と比較しても、既に十四件上回っているという状況で、このまま例年通り推移すれば、平成十七年は更に増加する見込みです。人々の生活形態も複雑化し、発生する事故の内容や傷病の程度も更に複雑化する中で、町民の119番通報に対する需要と、救急出動に対する期待感が、年々高まってきている現状が伺えます。

更に、前述した二百八十二件の出動で、搬送された患者は二百八十六人。それを「事故種別」と「傷病程度別」にグラフ化したのが図2です。急病による搬送が全体の約半数を占める百四十一人で、その内四分の一に当たる三十人が重症あるいは死亡に至っていることが分かります。その後、転院搬送が全体の約四分の一を占める七十人、交通事故によるものが三十七人、一般負傷によるものが三十三人と続きます。

過去の同データを元に朝日分署では、「町の高齢化が進むに連れ、脳疾患や心疾患による急病で倒れるケースが多くなっており、119番通報する機会は必然的に増える傾向にあるのでは……」と分析しています。また、過去二年間の月別の出動件数をグラフ化したのが図3です。

毎月平均して二十九~三十件の出動があり、中でも八月あるいは十一月に出動件数が増える傾向にあることが分かります。朝日分署では、「八月は、暑さによる日射病や熱射病のほか、お盆休みのレジャーなどで人も行動する機会が増える(=救急要因も増える)ため。十一月は、特に寒さに移行していく季節の変わり目で、脳疾患や心疾患による患者が増える傾向にある」と分析しています。

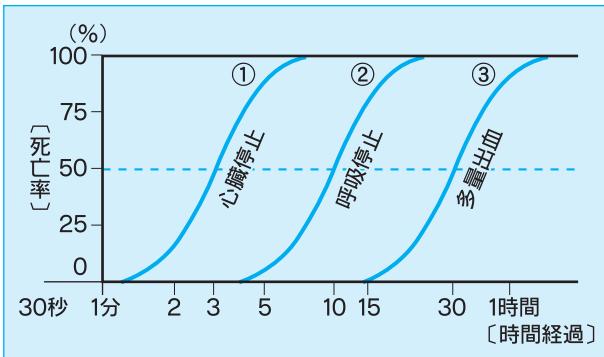


(図3) 朝日分署管内月別救急出動状況

救急車到着までの平均時間は六分

早い通報と早い応急手当が生死の分かれ目

救急の事態に遭遇し、119番通報してから救急車が現場に到着するまでの時間は、地理的な要因により多少の差はあります。が、平均約六分を要すると言われています。



(図4) カーラーの救命曲線

次の段階である救急隊員へのはずなバトンリレーをすること、この一刻を争う事態に、その人の命を救えるか否かを大きく左右するのです。専い人命を救うのに必要な絶対条件は、救急隊員が行う「早い救急処置」もさることながら、その前の段階で必要な「早い通報」と「早い応急手当」にかかるつていると言つても過言ではありません。

可能な限り早い「通報」「応急手当」「救急処置」「医療処置」という一連の流れを「救命の連鎖」と呼び、

また、心肺停止の状態で脳に酸素が送られない場合、脳が生きていられる時間は三〇四分とも言われています。

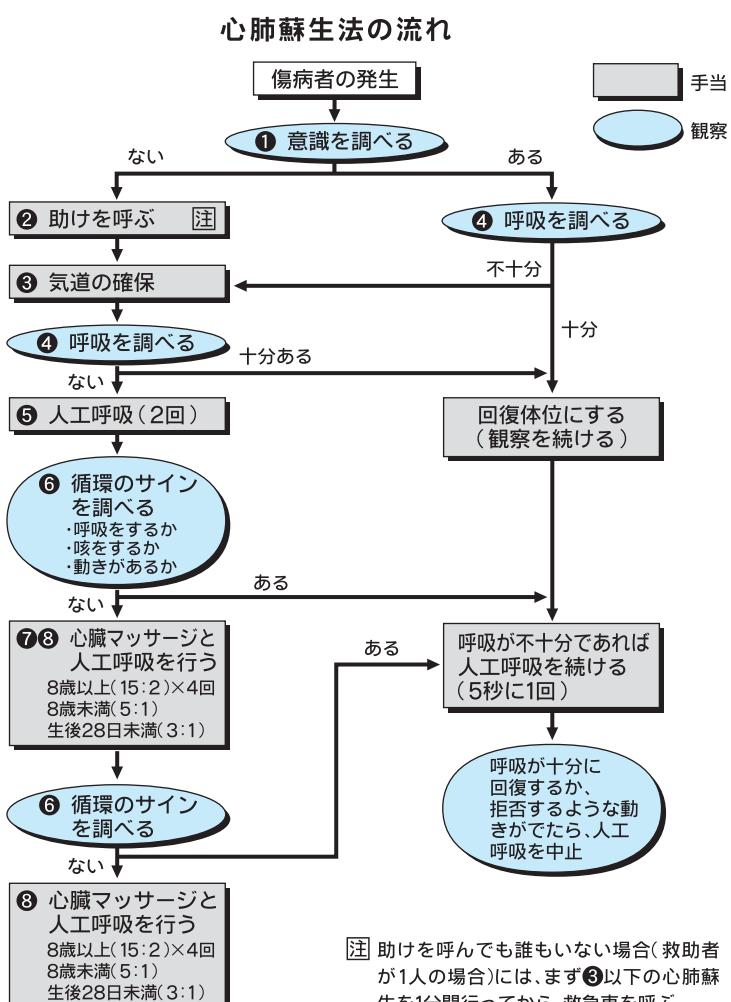
大切な命を救うために必要な
これらの行動が、迅速に途切
実際を想定した
心肺蘇生法の手順と、
応急手当とは、ケガや病気
により突然に意識障害や呼吸
停止、心肺停止などの状態に
陥った時、あるいは大出血に
より生命の危機に陥った時に

実際を想定した体験で会得したい 心肺蘇生法の手順と119番通報の際のポイント

れることがなく行われなければなりません。

■9番通報の際のポイント

験で会得したい



(図5) 心肺蘇生法の手順

※それぞれのやり方等詳細については、5頁(図6)を参考にしてください。



(図6) 心肺蘇生法の手順「図解」 ※各項目の○内数字は、4頁(図5)の○内数字と同じです。

署主催での講習会などがあります。これらにぜひ参加をしていただき、その際は自分で率先した姿勢で自ら体験してみることが必要です。

また、職場や地域、グループ単位で消防署(朝日分署)に講習会実施の申し込みをすれば、最寄りの会場での体験も可能です。年に一回は学んでおきたい講習会として、ぜひ活動計画などに組み入れてみてください。

最後に、119番通報の際、慌てないではつきりと状況を伝えるためのポイントをまとめてみました。

①「火事ですか。救急ですか」と聞かれるので、「**救急です**」とはつきり告げる。

②救急車を要請する場所(市町村名・地区名・地番・要請者宅、要請場所がビル等の場合にはビルの名前・階層・号棟・号室・最も近い入口など)を伝える。

③「どのような状態ですか」と聞かれるので、見たままの状態(けが人の人数・分

署主催での講習会などがあります。これらにぜひ参加をしていただき、その際は自分で率先した姿勢で自ら体験してみることが必要です。

また、職場や地域、グループ単位で消防署(朝日分署)に講習会実施の申し込みをすれば、最寄りの会場での体験も可能です。年に一回は学んでおきたい講習会として、ぜひ活動計画などに組み入れてみてください。

最後に、119番通報の際、慌てないではつきりと状況を伝えるためのポイントをまとめてみました。

①「火事ですか。救急ですか」と聞かれるので、「**救急です**」とはつきり告げる。

②救急車を要請する場所(市町村名・地区名・地番・要請者宅、要請場所がビル等の場合にはビルの名前・階層・号棟・号室・最も近い入口など)を伝える。

③「どのような状態ですか」と聞かれるので、見たままの状態(けが人の人数・分

かればケガをした状況)を簡潔に伝える。

④**通報した本人の氏名と電話番号**(携帯電話から通報した場合はその旨)を伝える。

⑤**救急車要請後は、その場を離れない**。携帯電話から通報した場合は、メイン電源を切らない。

また、救急隊が到着したら、次のことを知させてください。

①**傷病者の容態変化**。

②**応急手当をした場合、その内容**。

「こういう時こそ、一步踏み込んだ行動と冷静な対応が大切です」と、朝日分署長の佐藤重喜さん(大滝)に、救急事態における心構えを教えていただきました。

③持病がある場合、その病名とかかりつけの病院等。

④事故を目撃した場合、その時の状況。

⑤119番受付員から、電話を通して応急手当の口頭指導があった場合、その指示内容。

親として当然の責任だから…



応急手当講習会に参加して

白田千賀子さん(大谷一)
万が一、自分の子どもが緊急の事態に陥った時、親として何もしてあげられなかつたでは済まされない! 親として当然のことだと思います。

以前にも同じような講習を受けたことがあります。たつた一回の体験だけでは自信も得られず、実際には忘れてしまっていたようです。これでは、とっさの時に何もできないと思いました。一週間後に小学校でも同じような講習があり、前回の記憶を確認し実践してみましたが、何回体験してみても100%の自信にはつながりません。これが緊急時であったなら…。冷静で適切な対応ができるかどうか不安は残ります。しかし、このような体験の積み重ねこそが、緊急の事態から大切な家族を守ることができます。



大谷小に教育用PC設置

大谷小学校に教育用のパソコンが設置されました。電源立地地域対策交付金事業で整備されたもので、児童用のディスクトップ型25台、教師用同型1台とノート型1台の合わせて27台のほか、プリンタやスキャナなどが整備。総事業費は735万円。その全額に交付金が充てられます。

インターネットで日本の食糧生産について調べている同校の5年生。りんご生産について調べている長岡桃子さん（大谷三）と畠彩織さん（大谷二）は、「パソコンは調べやすい。一人1台使えるようになったのが嬉しい」と語ってくれました。

町総合防災訓練(9月11日／常盤地内)

防災意識の高揚を図る目的で、毎年実施される町総合防災訓練。今年は常盤地内を会場に9月11日開催されました。訓練には同地区の区民ら約100人が参加。避難のための誘導訓練や応急処置訓練、初期消火訓練、通報訓練など、様々な事態を想定した訓練が展開されました。中でも、スマートマシーンを使った濃煙体験は、当町でも初めて導入した内容で、煙に巻かれて前に進めない有事さながらの状態を体験していました。西部公民館から出火したことを想定した火災防ぎ訓練には、2分団管内（西部地区）全域のほか町に配備されている自動車ポンプ全車両が参加。勢いよく放水していました。



ハッピープランミーティング

結婚対策として効果のある施策を提言していただこうと、朝日町ハッピープランミーティング（結婚対策推進協議会）が、8月25日開催されました。公募等によって参加した20代から50代、独身の方や結婚している方、町外から嫁いで来られた方等、11名の委員で構成されています。

今回は、これまでの経過報告や現状の説明が主でしたが、委員の方からは、「男性の積極性がとても大切」「結婚したいへんなところばかり周りの人は話するが、良いところをどんどん話していくないと、若い人も結婚に良いイメージを持たない」等、様々な意見が出されました。今後、具体的な施策の提言をまとめ、12月頃までに町に提言をしていくことになります。

第44回衆議院議員総選挙 小選挙区の投票率83.27%

郵政民営化関連法案が衆議院で否決されたのを受け、衆議院の解散に伴う総選挙が8月30日公示、9月11日投票の日程で行われました。

今回の選挙は、郵政民営化のみならず年金をはじめとする社会保障制度の改革や税制の見直し、これまでの国の権限を地方に移す地方分権など、今後の国政の在り方が国民に幅広く問われた内容となりました。

朝日町については、小選挙区（山形2区）で83.27%（県内全体では73.84%）という県内第1位の投票率で、前回の2003年衆院選と比較して2.8%高い結果となりました。

小選挙区と比例区の結果は次のとおりです。

■小選挙区（山形2区）

	氏名	所属	得票数
当	遠藤 武彦	自由民主党（前）	3,244
次	近藤 ようすけ	民主党（前）	2,754
	無効		111
	計		6,109

■比例区

	政党名	得票数
自由民主党	2,209	
民主党	1,610	
明治党	1,301	
社会民主党	383	
国民新党	245	
日本共产党	211	
無効	149	
計	6,108	



「笑顔あふれる楽しい生活」
宮宿小学校の昇降口の上に、この
言葉が書かれてある大きな看板があ
ります。安藤昭郎前校長先生からの
寄贈であります。左側に笑顔の男の
子と女の子の絵が描いてあり、とても
楽しい気持ちになります。
笑顔は人の心を癒します。また前
向きな活力のある気持ちにさせてく
れます。

先月、山形市で開催された県の市町村トップセミナーで、浜松早期痴呆研究所長金子満雄氏の「長寿を力クシヤクと生きるには」という講演を聴く機会がありました。金子氏は、「認知症（痴ほう）の90%が生活習慣病型だ」と言っておられました。脳血管性によるもののが5%，アルツハイマー病に至っては2%で、認知症のほとんどは生活習慣病型だということでした。生活習慣病とは「家族の病気」であるとも

言つておられました。家族の思いやりが大きく認知症に関わつてくるののことでした。

いつも楽しい会話が飛び交う家庭の団欒。家族を思いやり、相手の身になり、お互い元気で丈夫であるようとにとの心のいたわりが、認知症のみならず多くの病症を癒し、快復の方向に向かわせるとこののです。

歌を歌つたり、トランプをしたり、碁をしたり、そしてみんなでグラウンドゴルフをしたり、多くの人とあ

茶を飲みながら
話をうながす。
そういう地域の
人の関わりも、
とても大切
なことです。



ご安心ください！ 町のアスベスト(石綿)対策

アスベスト(石綿)による健康被害が社会問題になっています。特に、壁天井等に吹き付けした状態で露出している、吹き付けアスベストへの適切な対応が必要となっています。

このようなことから、町においてはこれまで、学校施設や保育園、町立病院、公民館などの町有施設について、設計書及び目視等による調査を実施したところです。

その結果、西五百川小学校と宮宿小学校の給食用調理機器の一部に、アスベストの使用が判明。その対応策として町では、該当する機器の即時使用停止と飛散調査を実施し、安全の再確認を行っているところです。使用停止した調理機器は、既に新し

く更新しています。

その他の場所については、問題のないことが確認されていますが、一部、町民の方が日常利用することのない箇所（朝日中学校旧ボイラー室、開発センターボイラー室等）で、アスベスト含有の可能性のあるロックウール等の吹き付けが確認されています。

これらを踏まえ、今後国や県の指導も得ながら、アスベストの有無等について更なる検査等を行い、法律に基づいて適正に対処していくことにしていきます。

(注) アスベストを含んだセメント等を板状に固めたスレートボード等は、飛散するがないため、通常の使用では問題がありません。

町土地改良区総代選挙

任期満了に伴う町土地改良区総代選挙が、8月3日公示されました。各選挙区とも総代定数と立候補者が同数だったため、無投票で当選が確定。役場会議室で同月11日、当選人に当選証書が付与されました。任期は4年間。農業の生産性の向上や農業構造の改善などを目的に、生産基盤の整備や開発を進める事業内容が審議されます。

当選者は次のとおりです。

【以下の表示方法；氏名（職業 年齢=集落名）】

▽第1選挙区【大字宮宿、新宿、大滝、水本=総代数8】8人無投票

布施正美（農業57=本町）、鈴木正治（会社員55=西町）、寒河江和茂（農業52=栄町）、渋谷信二（会社員53=元町）、村山正一（農業61=前田沢）、高橋光一（農業50=水本）、柴田喜一（農業71=大滝）、鈴木義彦（農業48=雪谷）

▽第2選挙区【大字大谷、馬神、玉ノ井、大江町大字富沢=総代数16】16人無投票

白田利喜夫（農業69=大谷一）、大谷啓一郎（会社員48=大谷一）、佐々木辰一（団体職員53=大谷二）、川村正弘（会社員46=大谷二）、白田和敏（自営業52=大谷三）、白田健治（無職69=大谷四）、白田新吉（自営業59=大谷五）、大谷信一（農業59=大谷五）、志藤盛男（農業54=大谷六）、小野勝雄（農業61=大谷七）、武田賢一（団体職員53=真中）、庄田文夫（自営業57=真中）、堀謹一郎（農業52=舟渡）、堀良一（農業63=舟渡）、遠藤茂（農業61=栗木沢）、遠藤克則（農業52=栗木沢）

▽第3選挙区【大字三中甲、三中乙=総代数4】4人無投票

伊藤五三雄（農業60=能中）、渡辺一雄（農業52=能中）、海野義弘（農業58=能中）、佐竹和広（農業50=ハツ沼）

▽第4選挙区【大字松程、太郎=総代数6】6人無投票

阿部満雄（農業79=松程）、鈴木秀美（農業61=松程）、佐竹喜栄（農業71=松程）、長岡健一（農業63=石須部）、長岡重太郎（自営業60=太郎二）、長岡太蔵（農業65=太郎二）

塚本選挙管理委員長(右)から当選人に
当選証書が手渡された(8月11日)



奨励賞を受賞したセレクトルージュ(左)と銅賞を受賞したツバイゲルトレーベ(中央)とカベルネソービニヨン



朝日町ワインを絶賛。受賞ワインの試飲会でワインの味わい方を指導するソムリエの久松茂さん



※右線のコメントは、
山形県産ワイン認証
委員会審査委員長で
山形グランドホテル・
レストランアルカス
マネージャー兼チー
フソムリエの久松茂
さんの言葉です。

今年で三年目となる国産ワインコンクールが七月十三日から三日間、山梨県甲府市で開催され、朝日町ワインが銅賞一点、奨励賞一点を受賞しました。銅賞一点に輝いた年に次ぐ入賞で、町ぶどう生産者ら関係者は喜びをかみしめ合っています。

銅賞に輝いたのは、二〇〇二年産ぶどうでフランス原産のカベルネソービニヨンを原料に醸造樽熟成された、その名も「カベルネソービニヨン」。果実の凝縮した香りが広がり、酸味が心地よく食欲をそそる逸品です。そして二〇〇三年産ぶどうでオーストリア原産のツバイゲルトレーベを原料に醸造樽熟成された「ツバイゲルトレーベ」は、色も鮮やかで重みがあり、濃味の苦手な人にはちょうどいい。肩を張らずに好きな料理を楽しめるはずです。どちらも芳醇

な赤ワインで、朝日町ワインの顔となる新商品です。また、カベルネソービニヨンとメルローをブレンドした「セレクトルージュ」が奨励賞に輝きました。

町ぶどう生産組合長の布施國男さん(栄町)は、「最高の冥利に尽きる。毎年、より糖度の高いぶどうを出荷しているが、今年のぶどうのできもいい。今日から仕込みが始まるワインのできもまた楽しみです」と喜びを語ってくれました。

セレクトルージュ(2,110円)については既に市場に出回っていますが、カベルネソービニヨン(3,150円)及びツバイゲルトレーベ(2,310円)については、九月二十日に発売開始です。

朝日町ワインが銅賞と奨励賞を受賞

国産ワイン
コンクール

今期の朝日町ワイン 仕込み作業始まる

町の特産品であるワインの仕込み作業が始まるのを受けて、高品質ぶどうの収穫への感謝と仕込み作業の安全を祈願する催しが八月二十五日、(有)朝日町ワイン(代表取締役社長・鈴木浩幸町長)の発酵仕込み棟で開催されました。

神事には、ぶどう生産者や醸造技術者など関係者約三十人が出席。さがえ西村山農業協同組合の今田正夫代表理事組合長や、消費者を代表しアイジードラウエア工業株式会社の石川堯会長ら代表六人が、收穫したばかりの一房のぶどうを神前に供え、作業工程の安全を祈願しました。

静寂だった仕込み棟がにわかに活気づく瞬間。関係者らが見守る中、鈴木社長の手で除梗破砕機のスイッチを入れられ、コンテナに積まれたもぎたてのぶどう(デラウェア)が次々とベルトコンベアに載つて仕込まれていきました。

今年のぶどうのでき具合は、春先の好天続きと花芽の状態も良かつたことから、量質ともに上々とのこと。これらの糖度の高いぶどうがこの場所で今期仕

込まれる量は、白系八十トン、赤系百二十トンの合計二百トンの予定で、その内町内のぶどうと生産農家が栽培したぶどうは全体の90%を占めます。当町のぶどう生産者と醸造技術者の技と知恵から醸し出される「人と地の力」の結晶。それが消費者の心を根付かせる、味わい深く香り豊かな朝日町ワインです。



みずみずしいぶどうを除梗破砕機に送り入れる鈴木社長(右)



ぶどう玉串の御祓い



作業の安全を祈願する醸造技術者たち



関係者が見守る中作業が進められた



まちの話題



北部クラブ(8月25日)

①J2公式戦「モンテディオvsコンサドーレ」朝日町観戦デー(8月20日／県総合運動公園陸上競技場)

両チームの監督と審判にりんご贈る



M山形の鈴木淳監督(左)にりんごを手渡す鈴木町長

プロサッカー J 2 公式戦 「モンテディオ山形vsコンサドーレ札幌」 の試合が行われる予定だった 8 月 20 日。

この日は、M山形を応援する当町のサポーター50人が招待された朝日町観戦デー。しかし、試合開始直前に降り出した雷混じりの激しい豪雨のために、順延を余儀なくされました。

今年収穫したばかりのりんご（早生品種の「シナノレッド」）を持参し会場を訪れた鈴木町長ら町の三役。選手たちの健闘を祈願し、試合直前の競技場内で場内アナウンスによる紹介を受けながら、両チームの監督と審判員に手渡す手筈となっていました。もちろん町特産のりんごのPRも兼ねてのことです。

残念ながら、思いどおりの形で贈ることはできませんでしたが、メインスタンド下の冬季走路内で天候の回復を待っていたM山形の鈴木監督らに、直接手渡されました。

③夢と感動のスポーツ選手ふれあい事業

(9月9日／創遊館)



元日本記録保持者と交流

県内のトップ選手との交流が9月9日、朝日中学校で開催されました。スポーツの楽しさや喜びなどを知り、子どもたち自らが進んでスポーツ活動に取り組めるようにしようと、県教育委員会が主催しているもの。

今回、朝日中1年生が陸上競技の指導を受けたのは、女子100mHと400mHの元日本記録保持者で、現在山形短期大学助教授の江口(旧姓秋元)千鶴子先生。江口先生は、「速く走れるようになるための基本は、地面をよく捉えて正しく歩くこと」と語り、ユーモアと元気に満ちた声で陸上競技の基礎的な指導を行いました。

②造園技能講習会

(8月23~25日／朝日中・秋葉山交遊館ほか)

ハサミを持つ手に真剣な眼差し

8月23日から3日間の日程で造園技能講習会が行われました。高齢者の雇用と就業機会の確保を促進したいとの目的で、町のシルバー人材センターが主催したもの。57歳から70歳までの男女28人が参加しました。

講師を務めたのは、㈱八松園社長の伊藤誠一さん(寒河江市)と白田造園社長の白田源太郎さん(大谷三)のお二人。初日は机上による講義、最終日までの二日間は実技の講習という内容で、参加者たちは朝日中学校や秋葉山交遊館の敷地内にある庭木を利用し、剪定方法などについて学びました。

長尺の脚立を利用して高木に登って行う作業のため、常に落下などの危険が隣り合わせの難しい仕事。専用のハサミを手にする目には、厳しさが表れていました。



④第44回寒河江西村山地区少年の主張大会(9月7日／創造館)



朝日中3年
鈴木美穂さん(雪谷)

寒河江西村山地区防犯協会連合会が主催する同地区少年の主張大会が9月7日、創造館ホールで開催されました。県大会あるいは全国大会につながる大会で、管内の中学校7校から、各校を代表する計16人の弁士が出場しました。

朝日中から出場したのは、3年の鈴木美穂さん（雪谷）と2年の五十嵐綾花さん（中沢）の二人。消極的なこれまでの自分を振り返った鈴木さんは、『少しの勇気と引きかえに』という演題で、「部活動の仲間に思い切って自分の考えを話せたことがきっかけで、常に積極的になれる新たな自分を見つけてきた」と喜びを

語りました。少子化問題を取り上げた五十嵐さんは、『チャンスを生かそう～母の子育てに学んで～』という演題で、「子育てはわが子と一緒に自ら成長していくチャンス。母の姿を目標に、情熱を傾けられる仕事と心から楽しめる子育ての両立を図っていきたい」と将来について語りました。

若々しくとても爽やかな弁舌で、会場に詰めかけた朝日中の全生徒が、熱心に耳を傾けました。

審査の結果、鈴木さんと五十嵐さん両名のほか2名が優秀賞に輝き、9月16日に山新放送会館で開かれる、山形ブロック大会にコマを進めるようになりました。



朝日中2年
五十嵐綾花さん(中沢)

⑦国際ロータリークラブ



左から2人目がガバナーの石黒慶一氏

ガバナーが表敬訪問

国際RC 第2800地区(=山形県)のガバナー石黒慶一氏が、朝日RC(多田清一会長)の役員と共に町を表敬訪問しました。

町内の事業主20人で構成される朝日RC。資金と労力を出し合い、道路清掃や老人ホーム慰問、講演会実施など、奉仕の心で地域社会における充実した活動を展開中です。

⑧白寿祝品贈呈

ご長寿4人に県知事から賀詞

今年で白寿(99歳)を迎える4人の方(下記)に、山形県知事から賀詞と記念品が贈られました。鈴木町長が9月8日に各家庭を訪問。直接本人に伝達を行いました。

菅井よつさん(沼向)、樋口はるみさん(ふれあい荘)、清野たけよさん(四ノ沢)、清野権蔵さん(四ノ沢)

⑤第12回西部地区スポーツフェスティバル (8月21日／西部地区総合運動場ほか)

夏草チームが4種目で優勝

第12回西部地区スポーツフェスティバルが8月21日、西部公民館に隣接する運動施設で開催されました。前日は夕刻から激しい雷雨に見舞われた当地区。当日の天候は、一転して猛暑の晴天となりました。



700人を越す参加者が一堂に会した本大会。グラウンドゴルフ、ソフトボール、インディアカ、ビーチバレーボール、輪投げの5種目に熱戦を繰り広げました。その結果、インディアカを除く4種目で夏草チームが優勝という、過去にない快挙を果たしました。

⑥りんご温泉夏祭り(8月20~21日／りんご温泉)

ウナギのつかみどりに挑戦!

開館14周年を迎えるりんご温泉で、利用者に感謝して毎年行われる夏祭りが、8月20日から2日間の日程で開催されました。この日は入浴料が無料になったほか、うなぎのつかみどり大会や売店など趣向を凝らしたイベントが、訪れた人たちを楽しませました。



気温もみるみる上昇したこの2日間。昨年を上回る2,900人の来場者は、気持ちよい汗を流し帰路に就いていました。

みんなのひろば

ここ朝日町でしか生まれない日本画を制作



板垣敬子さん
(山形市出身)

「明るくて気持ちのいい田舎で、作品を制作したい」そんな思いを持っていた二人の女性の夢を叶えてくれたのは、四年前に閉校となつた旧立木小でした。

現在、旧立木小学校に居住しながら、日本画の制作活動に励む愛知県豊田市出身の田中敦子さんと山形市出身の板垣敬子さん。東北芸術工科大学（山形市）とともに日本画を専攻し、二年前の春に同大学を卒業。その後、田中さんは同大学院に進学しこの春修了。板垣さんは芸術活動に携わりながら二年間を過ごしました。

一年前に、閉校になつた学校の跡地利用の研究で訪れた旧立木小の環境に対し、板垣さんが好感を持ったのをきっかけに、ぜひ居住しながら作品を制作したいと町当局へ要望。その後田中さんを説き、今年の六月から二人で住んでいます。

朝日町や立木の印象について尋ねると、二人

が口をそろえるのは「明るい田舎」という表現。「閉校になつた学校と聞いてうつそうとした暗いイメージがありました。が、美しい清流があり、明るく気持ちのいい場所ですね」決してお世辞ではなく、作品制作には絶好の環境に、二人ともとても満足している様子です。

アトリエの名前の由来は、校舎内にあるカモシカの剥製の愛称。「この土地（立木）に根付いているマサトのように、ここでしか生まれない作品を制作したいですね。音、匂い、色それぞれが今までと全く異なる日常。作品にも自然とこの土地の要素が入っていきます」と語ります。

現在は、近日中に開催される東京での個展を目標に、日々制作に励んでいるとのこと。朝日町に居住して三ヶ月。創遊館などで展示を行いましたが、町内の友人や知人はまだごく少数のこと。今後は、制作活動以外でも一人の町民として、町内の様々な人たちと交流し、この町の色々なことを学んでいきたいそうです。



田中敦子さん
(愛知県豊田市出身)

西村山地区予選会（県大会出場のみ掲載）

- ▽一般三段以下の部
- ①富宿女子ミニバスケットボール少年団
- ①富宿女子ミニバスケットボール少年団
- ①宮宿剣道スポーツ少年団（少年）
- ②大谷剣道スポーツ少年団
- ②朝日町柔道スポーツ少年団
- ③宮宿剣道スポーツ少年団（少女）



「あたりえマサト」のあ二人 今・輝いて

（○内数字は順位）

■第53回山形県剣道大会

（7月31日／南陽市民体育館）

- ▽一般三段以下の部
- ②朝日町剣道連盟B（渡辺良輔・志藤広史・清野慎一・高橋俊明・渡辺基史）

■山形県少年少女スポーツ交流大会

西村山地区予選会（県大会出場のみ掲載）

- ▽男子の部／①【総合優勝】村山昭栄（太郎）②小原安夫（西町）
- ③阿部清五郎（松程）④鈴木三郎（西町）⑤大井忠夫（太郎）⑥村山久一（太郎）
- ▽女子の部／①村山タニヨ（太郎）②鈴木たか（西町）③堀トキ子（舟渡）④長岡珠子（太郎）⑤武田幸子（新宿）⑥鈴木みよ（西町）

■第32回東北総合体育大会

（9月4日／西部公民館芝生広場）

- ▽男子の部／①【総合優勝】村山昭栄（太郎）②小原安夫（西町）
- ③阿部清五郎（松程）④鈴木三郎（西町）⑤大井忠夫（太郎）⑥村山久一（太郎）
- ▽女子の部／①村山タニヨ（太郎）②鈴木たか（西町）③堀トキ子（舟渡）④長岡珠子（太郎）⑤武田幸子（新宿）⑥鈴木みよ（西町）

秋田県で開催 岡山国体出場のみ掲載

- ▽弓道少年女子②清野由依（寒河江高二年）古樹（高二年）
- ▽バスケットボール少年男子②佐藤弘歩（日大山形高二年）小原（高一年）
- ▽剣道少年男子③村山仁（酒田商業高一年）大谷七

となりのリウノンさん

作・ホリイ (176)



今月の新刊

おすすめ本！

最上一平さんの最新作
ビーズのてんとうむし



▼ちょっと気になる中性脂肪・コレステロール▼ミイラ発見!!-私のエジプト発掘物語- (吉村作治)
▼京都冷泉家の八百年-和歌の心を伝えるー(冷泉為人)▼ニートな子をもつ親へ贈る本(沢井繁男)
▼妖精と妖怪のあいだ-評伝・平林たい子- (群ようこ)
▼福音の少年 (あさのあつこ)
▼ポセイドンの涙 (安東能明)
▼ストーミーマンディ (牧村 泉)
▼グルメな女と優しい男 (望月あんね)
▼こんきち「あくじやれ瓢六」(諸田玲子)
▼お神酒徳利「深川駕籠」(山本一力)
▼アフガニスタンに住む彼女からあなたへー望まれる国際協力の形ー (山本敏晴)
▼恋愛の毛沢東ーあの祭りー (渡辺淳一)
▼曹操殘夢ー魏の曹一族ー (陳 舜臣)



大町
尾松

昭彦
彦子
ちゃん(3)
さん

お互い東京で仕事をしていた昭彦さんと多紀子さんは、『修斗（格闘技の一種）』の試合観戦で運命的な出会いをしました。その後ジム通いを始め、プロの道を目指し始めた多紀子さんをやさしく説得し、諦めさせたというエピソードも。

結婚後、山形で新婚生活をスタート。宮崎県出身の多紀子さんは、「方言や雪道には戸惑うことがあります、くだものやお米はおいしいし、みんな親切で山形が大好きです。間もなく二人目を出産する予定ですが、結婚5周年記念には家族4人で北海道旅行をするのが夢です」と、笑顔で語ってくれました。

現在、車の板金塗装という堅いお仕事の昭彦さんも、家に帰ると元気いっぱいの彩花ちゃんとアンパンマンの歌をうたったり、やさしいパパに大変身。「子どもが大きくなったら一緒にモータースポーツを楽しむのが夢かな」と語る昭彦さん。

お二人の夢がきっと叶いますように！

海国記－平家の時代－上下
平家一門は実業家だった！時と運の潮流を読み切り、のし上がった平家二代を描く。端役の武士から彼らはいかにして頂点にかけあがり、貿易立国の道を切り拓いたのか。

震度0

横山秀夫著

阪神大震災の朝、一人の県警幹部が失踪した。蒸発か？事件か？錯綜する思惑と利害、保身と野心。激しい内部抗争を背景にN県警幹部六人の密室劇の幕が開く…。

子どもの世話をならずして死ぬ方法

俵萌子著

自分はあんな思いを子どもにさせたくない。母親の闘病に直面したことから、老後の自立を考え、約百カ所の人施設を五年に亘って取材した書下ろし。

みなさんからのおたよりでつくるコーナーです。

町に対する意見や要望、提案みなさんの周りでの出来事や話題、日ごろ感じていること、イラスト、質問などお待ちしています。

- あて先／〒990-1442 朝日町大字宮宿1115番地
朝日町役場 政策推進課 地域情報係
(電話：67-2112 ファックス：67-2117)
- Eメール／kikaku@town.asahi.yamagata.jp
- URL／http://www.town.asahi.yamagata.jp

町民の声

あさひまちの宝箱 vol. 20

みんなで考えよう「上郷ダム」のこれから



「脚光あびる電源の町」の大きな見出しが、昭和37年7月号の町報あさひのトップを飾っています。最上川本流初のダムとして注目を集めた上郷発電所の落成式が、同年6月4日に宮宿小学校で開催されました。40年を過ぎた現在でも、最上川本流にかかる唯一のダムとして知られています。上郷の大滝地内に建設されたが、工事により水田7.1ha、畑11.1ha、山林4.3ha、原野40ha、家屋7戸が提供されました。

現在では、堆積物や漂流物それに水質汚染など、いろんな問題を抱えている上郷ダムですが、これまで町や地域に大きな恩恵を与えてくれました。これから、ダムをどうしていくのか地域だけでなく皆で考え、より良いアイディアを出していきたいものです。

(橋間友則 2004)

*あさひまち宝さがし実行委員会では、ひきつづき「まちの宝」を募集しています。広報紙の折り込みはがきを利用しご応募ください。

あさひまち宝さがし実行委員会

本町バス停の廃止には絶対に反対です。



広報八月号で、本町バス停の廃止の件を読ませていただきましたが、たいへんがっかりしています。今まで何十年間も停車していた所を、簡単に廃止するのはどうかと思います。ひと言で廃止などという言葉を使って欲しくありません。商店街のことも考えて欲しいと思います。

【匿名】
49歳 宮宿

八月号のバス停の件ですが、私は、毎日のように町営バスを利用しています。しかし、先月の広報に載つていた廃止が検討されているという本町バス停について、屋根もなくこれから冬季を迎えるにあたり、非常にたいへんな思いを

本町バス停廃止には反対します。お客様の便利性を一番に考えて欲しいです。停留所を増やすのなら話は分かりますが、わざわざ減らすのはどうかと思います。近隣の住民のことも考えて欲しいと思います。絶対反対します。

【匿名】
50歳 宮宿

山 交バス株が設置している本町バス停について、会社としての考え方を確認した結果、山交バス株の方針としては、現在のまま設置していく考えであると聞いています。町としても、利用者や地元の意見を尊重しながら町づくりを進めていますので、廃止は考えていません。

【匿名】
68歳 立木

また、旧宮宿バス待合所は、山交バス株とは異なる別会社の不動産であり、山交バス株が借り上げをして使用していたものであります。町としては、利用者が活用できるよう要望をしましたが、所有している会社では整理したい(=解体したい)意向を持つているほか、山交バス株も経営上の課題を理由に返却をしている状況にありますので、今までどおり利用させてもらうことは、事実上難しい状況です。

【政策推進課・税務町民課】



平成17年(2005年)
■8月1日～8月31日届出



すこやかに

区名	出生児氏名	性別	保護者名
緑町	菅井 来夢	女	優太・沙織
今平	伏貫 珠生	女	照夫・寛子
常盤	柏倉 和	男	敬一・智栄子
大谷三	鈴木 玄助	男	昭由・智美



おしあわせに

佐竹 優宇矢 (ハツ沼)	片桐 亜希 (東根市)
菅井 奈穂 (宿)	土田 留美 (寒河江市)



やすらかに

区名	死亡者氏名	世帯主名
栄町	長岡 宮男	せつ
宇津野	柴田 傳五郎	昌巳
ふれあい荘	五十嵐 よし	本人
古 樅	清野 常松	時雄
太郎一	長岡 啓太郎	純一
緑町	長岡 つるゑ	恒
新宿	佐藤 悌三郎	隆夫
宿	佐藤 清子	巖孝
水 本	岡崎 三右衛門	
宇津野	佐藤 しつゑ	広勝
太郎二	長岡 又治	政廣
大船木	笹井 京治郎	三千代
大 町	長岡 孝行	義夫

掲載を希望しない方は、お届けの際にお申し出ください。

人口と世帯数

●平成17年8月31日現在

人口 8,829人(減8人)
男 4,376人(減5人)
女 4,453人(減3人)
世帯数 2,563戸(減1戸)
()内 前月比

介護保険のマメ知識

平成17年10月から

介護保険施設などの利用料が変わります。

現在、在宅で生活をされている方の食費や居住費（家賃・光熱水費など）は本人が負担しているのに対し、施設に入所（入院）されている場合は、これらの費用は介護保険から給付されています。

そこで、同じ要介護状態であれば、どこでサービスを受けても公平になるよう、施設利用者の「食費」「居住費」が見直され、平成17年10月からは自己負担となります。

ただし、所得の低い方の自己負担は軽減されます。

◎食費・居住費等が自己負担となります

- ・介護保険施設（特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設）の利用者……………[食費・居住費]
- ・ショートステイ（短期入所者生活介護、短期入所療養介護）の利用者……………[食費・滞在費]
- ・デイサービス（通所介護）、デイケア（通所リハビリテーション）の利用者……………[食費]

◎所得の低い方は食費・居住費等が軽減されます

次の各段階に該当する方は、食費・居住費・滞在費の負担が段階毎に軽減されますので、役場で申請してください。

■利用者負担第1段階の方

町民税が非課税の世帯で、老齢福祉年金あるいは生活保護を受けている方

■利用者負担第2段階の方

町民税が非課税の世帯で、課税年金収入額と合計所得金額の合計が80万円以下の方

■利用者負担第3段階の方

町民税が非課税の世帯で、課税年金収入額が80万円を越え266万円未満の方

このほかにも軽減される制度がありますので、詳しくはお問い合わせください。

役場税務町民課保険給付係 ☎ 67-2119



平成17年10月1日(土)

9月下旬から面倒調査員がおつかいいたします。



あなたの調査票は守られています

国勢調査の調査票を配布・回収するのは、国勢調査員です。国勢調査員は、市町村長の推せんに基づいて総務大臣から任命された非常勤の国家公務員です。記入された調査票は、厳重に管理され、統計以外の目的には使用しません。集計が終わったら調査票は、溶かします。今年は国勢調査の年。10月1日のあなたを記入してください。

朝日町フォトコンテスト

この町には「自然」「歴史・文化」「人」など、ふるさとを感じさせる宝物のような風景が数多く残っています。昭和29年11月に合併し昨年50周年を迎えた朝日町。これを記念し「今残したいふるさとの宝」をテーマに募集したものの中から、選りすぐりの作品を紹介します。

優秀賞 「こわいようー」



この写真は、大谷の風祭りの時に撮ったものです。風祭りには例年訪れており、今年は妻と妻の友人が地元の方のお宅にあ誘いを受け、見知らぬ私たちにも関わらずご馳走していただき、たいへん感動してありました。

この祭りは、地区の祭りという雰囲気で、写真のひょっとこあ面の方もあばあちゃんも子どもも地区民みんなが主役で、このような地区を上げての祭りは山形でも少なくなってきたので、とても魅力があると思います。これからも田舎や農村の風景、伝統行事を写真におさめていきたいです。

撮影者 石井廉二さん（山形市）

春夏秋冬

編集後記

あれ程有権者のいる地区で、男女の投票数がこんなにも接近する所は、他にないのではないかと思いました。それでも二・三票差で推移した投票数は、午後一時の速報値で一五〇票の同数となり、その後どちらが突出することもなくほぼ同数で進み、最終的には三票差という結果。言われた方が多かったような気がします。やはり、「夫婦和合」というくらいですから、なるほどという結果なのです。

天高く馬肥ゆる秋。秋空が高く澄みきった頃は、馬もよく食べたくましく太る。秋の季節のさわやかさを表現したことばです。季節はもう秋。猛暑続きの盛夏の頃が、何となく懐かしく感じる今日この頃です。△網戸越しに聞こえてくる虫の音を、床に入り何気なく聞いてみたところ、五種類くらいの鳴き声が聞こえました。それぞれの音がそれぞれのテンポで時を刻み、併せて一つのメロディーを奏でているようで、秋の季節をより醸し出しているような、そんな感じがしました。△九月十一日執行された衆議院議員選挙。第三投票所(和合)で選挙事務に従事させていただきましたが、

秋風に
音符を刻む
いな」かな
(はやけん)

